



# 企業と生物多様性セミナー

## 第11回 工場敷地を活用した生物多様性の保全



### 日時

2013年

9月12日(木)

14時~16時

### 場所

東京情報大学  
千葉ステーションキャンパス  
(裏面地図参照)

### 対象

県内に工場・事業所がある企業関係者 70名 (参加無料)

### 主催

千葉県  
一般社団法人千葉県経済協議会  
一般社団法人千葉県環境保全協議会

### 後援

東京情報大学

### 申込・問合せ

事前申込制：千葉県自然保護課生物多様性センター企業セミナー担当宛に下記の必要事項を記載の上、メール又はFAXで、お申込み下さい。  
締切り：9月6日(金)(必着)  
hogo10@mz.pref.chiba.lg.jp  
Tel 043(265)3601  
Fax 043(265)3615

工場の建設は、自然環境の改変を伴いますが、一方で工場敷地は工場立地法等に基づき一定規模の緑地が確保されていることから、都市化が進んだ地域においては、公共緑地等とともに生物多様性の拠点にもなり得ます。

今回は、こうした視点から工場敷地を活用して生物多様性の保全に取り組んでいる東芝グループの先進的な取組について、(株)東芝の藤枝一也氏に御講演をいただきます。

### セミナー内容

#### ◆講演

工場を中心とした生態系ネットワークの構築と希少な動植物の生息域外保全

(株)東芝 環境推進部 企画担当 主務 藤枝一也 氏

※詳しくは裏面をご覧ください。

#### ◆報告

千葉県レッドデータブックについて

千葉県生物多様性センター 副主幹 萩野康則

県で発行した、絶滅の恐れのある野生動植物に関する情報を記載した千葉県レッドデータブックやレッドリストの概要についてご説明します。

### 第11回 企業と生物多様性セミナー申込書

企業名		業種	
連絡先	TEL	E-mail	
参加者の所属 職 氏名			

## 藤枝 一也 (ふじえだかずや) 氏



(株) 東芝 環境推進部 企画担当 主務

1995年(株)東芝 研究開発センター入社。ULSI研究所、個別半導体基盤技術ラボラトリー、資材調達部門を経て、2008年4月より現職。環境推進部では東芝グループにおける環境経営施策の企画・立案を担当。横浜国立大学経営学部卒業、法政大学大学院環境マネジメント研究科修了。

## 講演要旨

東芝グループではグローバル67拠点で生物多様性保全活動に取り組んでおり、2015年までに世界中の拠点でビオトープを整備することを目指しています。当社では、ビオトープ施策として(1)工場を中心とした生態系ネットワークの構築、(2)希少な動植物の生息域外保全の2つの簡易的な手法を定義したことで、各拠点による自主的な活動が進展しています。(1)では、蝶、トンボなどの空中移動性の生き物を対象として、工場内に産卵場所となる簡易ビオトープを設けることで周辺の公園、川、従業員の自宅などを結ぶネットワークを構築します。(2)では、工場の周辺に生息している希少種、絶滅危惧種などを敷地内で保護・人工増殖し、本来の生息地に戻すことを目指しています。本報告では大小様々な拠点で実施してきた具体例を示すとともに、費用や手間を抑えつつも実効性の高い生物多様性貢献活動の簡易手法について紹介します。

## ■ 会場案内図 ■

## 東京情報大学

## 千葉ステーションキャンパス

千葉市中央区新町18-10

千葉第一生命ビルディング6階

## ■ 事前申込制 ■

表面下部の必要事項を記載の上、千葉県自然保護課生物多様性センター企業セミナー担当宛に、メール 又は FAXでお申し込み下さい。

締切り：9月6日(金) (必着)

Email hogo10@mz.pref.chiba.lg.jp

Fax 043(265)3615



【注】 駐車場はありません